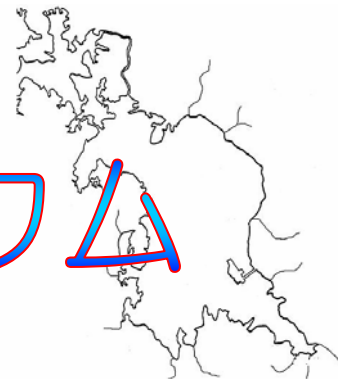


第3回 大村湾シンポジウム

～大村湾を診断する～



私たちの身近にある大村湾。この美しく豊かな海“大村湾”を次世代に伝えていくため、また、その再生や湾沿岸地域の活性化のために、今何をしなければならないのか、私たちが目指すべき方向性について一緒に考えてみませんか。

日時：平成23年2月26日（土） 13時30分～16時（開場13時）

会場：大村市 郡地区公民館 多目的室

参加費：無料



大村湾（二島）

●基調講演

「海健康診断から処方箋へ」

長崎大学 教授 中田 英昭 氏

●パネルディスカッション

「“元気な大村湾”を目指して」

コーディネーター

広島大学 名誉教授 松田 治 氏

パネリスト

大村湾をきれいにする湾沿岸議員連盟 事務局長	大崎 敏明 氏
大村市漁業協同組合 代表理事組合長	二嶋 富寛 氏
長崎大学 教授	中田 英昭 氏
海洋政策研究財団 常務理事	寺島 紘士 氏
長崎県環境保健研究センター 研究部長	山口 仁士 氏

長崎市生まれ。農学博士（東京大学）。専門分野は、水産海洋学・沿岸海洋学。東京大学海洋研究所を経て、2000年に長崎大学水産学部教授。大村湾や有明海の環境を改善するための研究など、長崎沿岸の海に関するテーマに取り組んでいる。



主催 長崎県 海洋政策研究財団
後援 大村市
大村湾をきれいにする湾沿岸議員連盟
大村湾をきれいにする会

シンポジウム会場：郡地区公民館
（大村市富の原2丁目382番地1）



お問合わせ先 長崎県科学技術振興課 TEL 095-895-2525 FAX 095-895-2544

パネルディスカッション「“ 元気な大村湾 ”を目指して」 コーディネーター及びパネリストのご紹介

【コーディネーター】

松田 治（まつだ おさむ）

広島大学名誉教授、海洋政策研究財団特別研究員、分野横断的研究グループ「瀬戸内海研究会議」会長。専門は水圏環境学、水域物質循環論、陸域海域統合管理論など。閉鎖性海域の環境管理や里海創生に関する活動に注力し、「英虞湾再生プロジェクト」では研究・技術・行政・住民の「つなぎ役」を務めた。南極観測越冬隊、北極観測、南北太平洋から熱帯マングローブ域までのフィールド・ワークや国際共同研究、公的委員の経験多数。

【パネリスト】

大崎 敏明（おおさき としあき）

大村市議会議員、大村湾をきれいにする湾沿岸議員連盟事務局長。大村市議会で厚生委員会委員長を務める。市議会にて、大村湾と人がふれあう場づくりや、川から流れ込む多量のゴミ処理についてなど、大村湾の環境対策に関する積極的な提言を行っている。

二嶋 富寛（ふたしま とみひろ）

大村市漁業協同組合代表理事組合長。漁業歴 44 年。大村湾の再生や資源回復に向けた活動を行っている。「大村カキ」を「大村ナマコ」と同じく大村の名物と呼ばれるように育てていきたいと考え、漁業生産に取り組んでいる。

中田 英昭（なかた ひであき）

長崎市生まれ。農学博士（東京大学）。専門分野は、水産海洋学・沿岸海洋学。東京大学海洋研究所を経て、2000年に長崎大学水産学部教授。大村湾や有明海の環境を改善するための研究など、長崎沿岸の海の環境に関するテーマに取り組んでいる。

寺島 紘士（てらしま ひろし）

海洋政策研究財団常務理事。世界海事大学理事、科学技術・学術審議会海洋開発分科会委員、日本海洋政策学会事務局長など。超党派の政治家、有識者等からなる海洋基本法研究会の事務局長として2007年の海洋基本法制定に尽力した。わが国の海洋政策の提言に取り組みとともに、マラッカ海峡の安全協力体制構築、海賊対策、沿岸域管理、海洋教育の推進などの研究にも取り組み、国内だけでなく世界およびアジア地域のレベルで海洋政策に関する研究・活動に積極的に参画している。

山口 仁士（やまぐち ひとし）

長崎県環境保健研究センター研究部長、長崎大学大学院生産科学研究科准教授。カキなどの二枚貝の力で内湾の環境を修復する研究に取り組む。生物を死なせないことが環境修復の要点として、海底に沈めたホースから空気を吹き込む貧酸素低減の実験的研究を大村湾で実施中。

----- 下記を FAX 又は E メールでお送りください -----

参加申込 長崎県科学技術振興課 へ

F A X : 095-895-2544 【締切 2月21日(月)】

E-mail : s26100@pref.nagasaki.lg.jp

所 属 名

(団体で申し込まれる場合記載してください。)

参加者氏名 (下記にご記入ください)
